

新山下駅周辺地区

Vol.3

## まちづくり協議会ニュース

発行 / 「山元町復興まちづくり協議会 事務局」宮城大学 山元復興ステーション住所：宮城県亶理郡山元町浅生原字日向 13-1 TEL・FAX：0223-36-8507

■私たち一人一人が自立し、新しく生まれる新市街地で共に心豊かで潤いのある生活を営むことは、すべての町民の思いです。特に、高齢者が暮らしやすい生活環境の整備を進める必要性は、これまで以上に高まっておりハード、ソフトの両面から、また新市街地の「まちなみづくり」を考える上でもより一層の取組みを進めていかなければならないと考えています。

今後より多くの移転希望者が「協議会」へ参加される事が重要となります。



## 新山下駅周辺地区 まちづくり協議会活動報告



- 2013 11月  
みんなで決めようまちなみづくり  
高齢者に暮らしやすいまちなみづくり
- 2013 12月  
第二次提言書の回答  
第1回まちなみづくり勉強会
- 2014 1月  
第2回まちなみづくり勉強会
- 2014 2月  
第3回まちなみづくり勉強会  
高齢者に暮らしやすいまちなみづくり
- 2014 3月  
公営住宅にお住まいの方のお話し  
高齢者に暮らしやすいまちなみづくり



○第二次提言書提出以降のあゆみ○ まちづくり協議会では、昨年10月「第二次提言書」提出後、昨年12月の協議会で山元町より第二次提言書の回答（幹線道路のイメージ、近隣公園イメージ、駅前広場イメージ、安全安心なまちづくりの検討と検証）について、意見交換を行いました。その後の協議会では、「新市街地のまちなみ」について検討しています。「まちなみづくりがなぜ必要か？」など協議会内で勉強会を重ね、「より良い暮らしづくり」のために活動を続けております。より、住まわれる方の声を反映させるために、新市街地への移転希望の方へ「まちなみづくりに関するアンケート」を実施しています。また、「高齢者に暮らしやすいまちなみづくり」について検討しています。

## 小島 光義さん・絹子さんご夫妻インタビュー

## 災害公営住宅

## 入居インタビュー



「辛いことより、有難い気持ちの方が大きい」

今月のインタビューは  
小島さんご夫妻

※今後もリレー方式でインタビューを  
やっていきたいと思っております  
「小島さん知り合いを紹介して下さい」

次回は、S.Sさん（予定）

## 会員募集中

一緒にまちづくりを考えませんか？

## ■ これからの活動予定

・4月26日（土）

定期総会・協議会

内容：事業報告・事業計画  
理事改選、まちなみアンケート  
調査結果報告

・5月11日（日）

第2回

まちづくり勉強会

内容：「みんなでつくる、  
まちなみづくり」（仮）  
講師：（有）アーバンセクション  
代表取締役・二瓶正史氏

3月  
協議会報告

## まちづくり協議会を開催しました！！

参加者：31名

※公営住宅にお住まいの方のご協力のもとに、初めて新しい集会所をお借りして協議会を開催することができました。すでに入居されている方にも多くご参加して頂きました。内容は、

- 災害公営住宅標準プランの情報提供（朝オオバより説明後、参加者との意見交換）
- ・間取り・外観イメージについて
- 災害公営住宅にお住まいの方から 下田さん・小島さんご夫妻より
- ・お話しの後に参加者との意見交換
- 高齢者に暮らしやすいまちづくり
- ・町の進捗状況を説明後、参加者との意見交換

Q1：災害公営住宅に入られて、居心地はどうですか？

A1：光義さん：辛いことより、有難い気持ちの方が大きいです。ご近所との、お付き合いも順調にしています。

絹子さん：2月27日、28日に自宅を開放して、ご近所の方々とひな人形作りを行いました。女性の方々が、両日で12名集まりみんなで楽しく制作しました。「制作しながら、集会所前に花壇をつくりたいね。」とか、「近所をただ散歩するだけじゃなく、ゴミ拾いとかもいいよね。」などという話ができました。今まで、顔を合わせていなかった人もお誘いしお話しすることができました。旦那さんが、おもてなししてくれました。

Q2：仮設住宅と違うところはなんですか？

A2：光義さん：広さの面で、部屋に入った感じが断然違います。

絹子さん：仮設住宅の時は、部屋が狭いため、お客様が来た時「ちょっと待ってね。」と、いって、片付けてから入ってもらっていました。そして、冬は寒く、夏は暑かったです。隣の音も心配でした。今は、全然聞こえません。

Q3：何か、困っていることはありますか？

A3：光義さん：自分は車の運転ができますが、車がない人は買い物に不便とっています。移動販売車が来ているが、特に販売のお知らせもない様子で通りを通過してしまうようです。足の悪い方には、通過が早すぎるみたいです。

Q4：まちづくり協議会に参加し、このような活動で考えたり、決めていくことに関してどう思いますか？

A4：光義さん：協議会は、始め仕切りが高く思えました。参加してみて、みなさんが頑張ってくれているのに、自分も少しでも役に立てればいいと思い参加するようになりました。元気なうちにいろいろできればいいと思っています。

